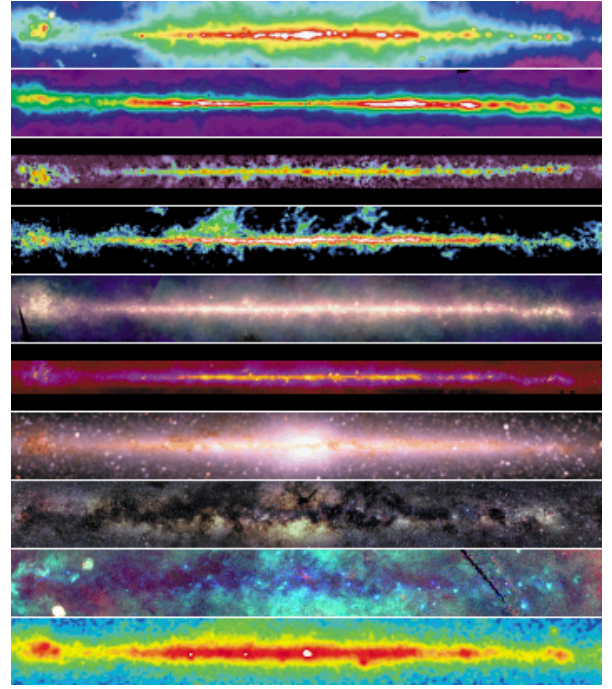
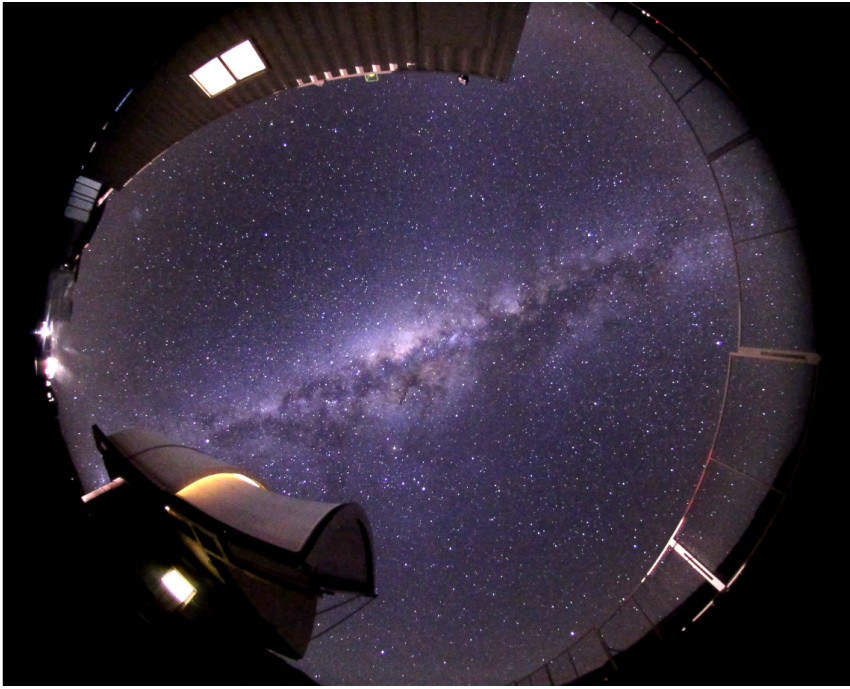


天の川銀河の星間ガスを 観測してみよう

11月9日(木) 18:30 ~ 上越教育大学自然棟 602



星間物質とは、その名の通り、星と星の間の空間に存在するガスやチリの雲です。これらは星の材料となる重要な物質で、多くの場合可視光では観測することができません。電波による観測は、この星間物質の研究に強力なツールとなります。近年の技術の進歩によりソフトウエア無線等が登場し、宇宙電波観測が驚くほど容易になりました。ネット通販で入手できる安価で手軽な機器を用いて、学校や家庭でも実現可能となってきました。

今回、SKA観測所（イギリス）の浅山信一郎博士をお迎えしてこれらについてのお話をいただき、実際に観測装置を製作して天の川銀河の星間ガスからの放射を観測します。興味のある方は、下記連絡先（濤崎）までご連絡ください。当日直接会場へ来ていただいてもかまいません。

tosaki@juen.ac.jp

浅山 信一郎（あさやましんいちろう）〈SKA Observatory System Scientist〉

大阪府立大学大学院理学研究科物質科学専攻終了後、南米チリ・アンデスの標高5,000mの高地に完成した電波望遠鏡「アタカマ大型ミリ波サブミリ波干渉計(ALMA)」の建設に従事。国立天文台チリ観測所所長を経て、2020年12月よりイギリスのSKA Observatory本部にSystem Scientistとして着任。専門は電波天文学、博士（理学）。